

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		蟬川	64121	

事業の概要

事業の概要	(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。 ※なお、選定された事業の概要等は個別の評価書を参照。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応事業その他経費			
	平成18年度	—					
地域の課題と現状	地域の課題が多様化する状況の中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、市民の皆さんと相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,030	999	3,276	1,012		
	財源内訳						
	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	1,030	999	3,276	1,012		

計画 (Plan)

事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、市民の皆さんと相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービスを提供していくこと
今年度の事業の取組内容	(1)募集期間中に説明会を開催する。 (2)選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (3)28年度実施事業については、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。 (4)27年度に実施した事業について、外部委員による審査委員会により評価を行う。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	(1)募集期間中に説明会を設定しましたが、出席者はなし。 (2)29年度実施事業について募集をしたところ、3団体の応募があり、公開プレゼンテーションを開催し(平成29年2月5日)、2団体の事業を選定した。 (3)28年度実施事業について、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。 (4)27年度実施事業について、審査委員会により評価を行った。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	説明会の開催	目標 実績 1	1		回
	2 活動指標	公開プレゼンテーションの開催	目標 実績 1	1		回
	3 活動指標	審査委員会の開催	目標 実績 2	2		回
	4		目標 実績			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	より多くの提案をしてもらえるように、募集案内・提案書の様式を変更した。		
	評価項目	評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	平成29年度事業の募集に対し、3団体が応募、2団体が選定され、事業を実施することとなりました。成果は順調に上がっていると言える。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	選定事業額<予算となっていることから、毎年多くの不用額が発生している。より多くの提案が出るように周知等を行うほか、不用額の扱いについて検討することで、効率的な事業執行になる可能性がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	翌年度以降も引き続き事業を実施するが、より応募・選定数が増えるよう、広報などの改善を図る。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		戸田	64121	

事業の概要									
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図るため、外部評価委員による評価を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応事業その他経費				
		平成18年度	—						
地域の課題と現状		地域が抱える課題については、多様化・複雑化が進んでいる状況にあり、こうした状況に対応するため、区役所が実施する地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		818	818	1,032	964		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源		818	818	1,032	964				

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	平成27年度に実施した高津区地域課題対応事業のうち、6事業について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、外部委員による評価を実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を4回開催し、平成27年度高津区地域課題対応事業について、6事業の外部評価を実施した。						
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1	活動指標	外部評価実施事業数	目標 実績	6 6		事業
		2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標 実績	4 4		回
		3			目標 実績			
		4			目標 実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	外部評価を行う中で、前回評価時指摘事項が改善され効果が出ていることが認められている部分があるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	年間4回開催している懇談会の回数を減らすことができる可能性があるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められているため、外部評価事業を継続していく。

平成28年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	20	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		戸田	64121	

事業の概要								
事業の概要	高津区の次年度以降の事業計画等において、区民ニーズ、必要性及び緊急性が高い課題等に対応する事業を効果的・重点的に実施するため、「区民がどのような施策・事業を執行してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業が区民にどのよう に評価されているか」等を調査する。							
	実施期間	事業開始年度 平成18年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域課題対応事業その他経費			
地域の課題と現状	地域が抱える課題については、多様化・複雑化が進んでいる状況にあり、こうした状況に対応するため、区民が日々の暮らしの中で感じる課題やニーズを把握し、より効果的・効率的に区役所の事業を実施することにより、地域の課題解決を図っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		事業費	予算額 0	決算額 0	予算額 1,722	決算額 1,571	予算額	決算額
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財 一般財源				1,722	1,571			

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区の次年度以降の事業計画等において、区民ニーズ、必要性及び緊急性が高い課題等に対応する事業を効果的・重点的に実施することを目的とする。
今年度の事業の取組内容	主に次のような内容を調査項目として調査を実施する。 (1) 区民がどのような施策・事業を行ってほしいと考えているのか。 (2) どのような手法でニーズを達成してほしいと考えているのか。 (3) 高津区地域課題対応事業の認知度

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	区が所管する事業について、区民ニーズを的確に把握し、効率的・効果的に執行するため、「区民がどのような施策・事業を実施してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業がどの程度認知・評価されているのか」などについて、高津区民2,000人を対象としたアンケート調査を実施した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	回収率	目標	実績	50	55.5		%
	2		目標	実績				
	3		目標	実績				
	4		目標	実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域の課題が多様化・複雑化する中で、事業を効率的・効果的に執行していく必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民のニーズを把握し、事業を効率的・効果的に実施していくためには、区民に対するアンケートの実施は有効な手段の一つであるため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	今回のアンケート結果を活用し、事業の改善や川崎市総合計画第2期実施計画を策定するのは平成29年度以降であるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	仕様書の内容や契約方法、役割分担等は適当であると考えられるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	区民のニーズを把握し、事業を効率的・効果的に実施していくためには、区民に対するアンケートの実施は有効な手段の一つであるため、次回は川崎市総合計画第3期実施計画の策定に合わせ、平成32年度に実施を予定している。